



公明党埼玉県本部代表
参議院議員

西田 実仁
まこと

本年は、統一地方選挙の後、この4年間の総括ともいえる市議会議員選挙の年になりました。過去3年半に渡って皆様と

あけましておめでとうございませう。新年を迎えるにあたりまし

松本 徹

市議会議員
松本 徹

蕨市の皆様、新年、明けましておめでとうございます。旧年中は、とりわけ昨夏の参院選挙では、大変にお世話になりました。誠に、誠にありがとうございます。皆様方の真心にお応えできるよう、さらに精進して

いあいさつ

まいる所存です。本年は、統一地方選挙の年。そして、蕨市議会議員選挙の年でもあります。参院選に続く連戦連勝で、地域から日本を変える、ネットワーク政党・公明党の本領を発揮する年として参ります。どうか本年もよろしくお願い申し上げます。

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。党員支持者の皆様におかれましては、幸多き新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。昨年の参議院議員選は多くの皆様にご指示を頂き、公明党埼玉県本部と致しまして、公明党も、おかげさまで大勝利を勝ち取ることが出来ました。

共に、蕨市発展のために死力を尽くして「動き」「語り」「訴え」続けて参りました。今後も更なる躍進に向けて、「断じて勝つ」の精神で全力で取り組んで参りますのでどうぞ宜しくお願い致します。

て、蕨市議会を代表して心からお喜び申し上げます。おかげさまで、皆様方の温かいご支援に支えられ、自助・共助・公助に立脚した『地域主権型福祉社会』の実現を目指し、市政の課題に取り組んでまいりました。

公明党市議団



公明わらび

発行
戸田総支部
蕨支部
2011年1月



市議会議員
松本 徹
☎ 446-2093



市議会議員
高橋 悦朗
☎ 443-9110



市議会議員
大石 幸一
☎ 432-2450

賀 正
新年あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願ひ申し上げます。

公明党蕨支部「くるる」 施設見学会の実施

秋晴れの良い天候に恵まれた年11月24日(水)公明党蕨支部の研修会を兼ねた、公共公益施設「くるる」の施設見学会を実施致しました。

当日は、100人近い方々にご参加を頂きました。3階のホールにお集まり頂いた上で、壁に収納されている椅子を自動で出せるシステムを間近でみる事が出来ました。そして、音響や壇上のシステムについて説明下さった後「くるる」の紹介DVDも見せて頂きました。

その後、施設見学に入り屋上庭園と2階保育園の見学をした後、解散となりました。1階の施設については、残念なことに当日は、すでに講座や予約が入っていたため見学は出来ませんでした。



暖かい・真心の品々 ありがとうございました。 公明党女性局

公明党の活動につきまして、日頃より格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

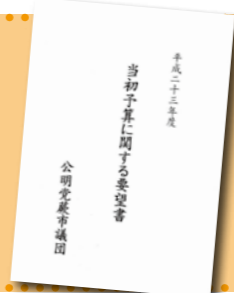
昨年12月5日に、公明党蕨支部女性局は、福祉活動の一環として、社会福祉協議会、及び特別養護老人施設等にタオル・石鹸・洗剤・ティッシュペーパー・靴下・マスク・紙オムツ等、1018点の品物を3名の公明党市議団と共に寄贈して参りました。

皆様のご協力に対し、心から感謝申し上げます。大変にありがとうございました。



公明党市議団は市長へ23年度 当初予算に関する予算要望書を提出

平成22年12月7日(火)に市長に対して、公明党蕨市議団は平成23年度の予算要望を行いました。今回も、「住みよい蕨」「安心安全の蕨」を目指して131項目に渡り、市長に対して強く要望を行って参りました。



蕨市議会・12月定例会

平成22年12月定例会が11月26日から12月17日までの22日間の会期日程で、議会が開かれました。市長提出議案18件、議員提出議案1件、請願1件について、審議を致しました。公明党蕨市議団と致しましては、

今議会は平成23年度予算に大きく影響を与える議会であることから、生活者優先立場で各委員会審議、一般質問等の論戦を展開致しました。その後、討論・採決を行い閉会されました。

<http://www.komei-warabi.com>

※ Yahoo で「公明党蕨支部」「蕨市公明党」と検索すると検索結果のトップページに掲載されています。

一般質問・要旨

大石 幸一 議員

住民基本台帳カードについて

〔質〕他市において、なりすましによる不正取得事件が発生しているが本市の考えと対策について

〔答〕現在、市民課窓口で住民基本台帳カードを即日、交付する際は、申請者の本人確認ができる書類として、運転免許証、パスポートなど官公署発行の写真付きの身分証明書を提示して頂くことになっております。

〔質〕なりすまし取得が判明した場合、本市はどのような対応をとるのか

〔答〕まず、カードの失効の処理をした上、総務省の通知に基づき、捜査機関に通報するとともに、県及び総務省に連絡することとしております。

また、写真付きの身分証明書をお持ちでない方は、申請のみの受け付けをし、後日お住まいのご住所に通知書を郵送致します。1か月以内に、その通知書と本人確認のできる健康保険証等をお持ちになり、市役所窓口にお越し頂いた上で交付することになります。そのた

め、不正取得は不可能と思われず。



「地域児童見守りシステムモデル事業」

〔質〕総務省の「地域児童見守りシステムモデル事業」を、現在実施している企業とタイアップして、更に良いものにしていく考えはないか。

〔答〕総務省が平成19年度に全国の16の地方公共団体等をモデルに選び実施したもので、蕨市もモデルに選ばれ、地域児童見守り協議会が実施主体となつて事業を実施いたしました。

平成20年度から蕨ケーブルビジョン株式会社の実施主体を引き継ぎ、本事業を継続しており、現在、利用対象は小学生に限定せず、利用者数は1,190人と聞いております。

市といたしましても、この事業につきましては、子どもたちの安全安心を確保する仕組みの一つとして有効なも

のと認識しておりますが、実施主体としては、引き続き蕨ケーブルビジョンにサービスの提供を継続していただきたいと考えております。

教育行政について

〔質〕市内の小中高生が犯罪被害に巻き込まれている現状において、保護者に対して手紙以外にもメール・FAX等を使ってリアルタイムに情報提供する考えはないか。

〔答〕不審者情報等の安全に関する情報提供については、早急な対応が必要とされる場合も多く、メール等での一斉送信機能を活用した、リアルタイムの情報提供が、児童生徒の安全確保に向け有効な手段であることは、議員ご指摘のとおりであります。

現在のところ、東小学校、塚越小学校の2校において、企業の配信サービスを活用した情報等の提供を実施しており、さらに4校が活用を検討中であり、

しかしながら、いくつかの課題もございますので、各学校の実態に合わせて弾力的に活用できる方策を、今後とも研究してまいりたいと考えております。

〔質〕今年度実施した35人程度学級の臨時教員の現在までの効果・効用はどうか。

〔答〕蕨市で実施している35人程度学級につきましては、一人一人をよりきめ細かく指導できる。「児童と教師のこ



コミュニケーションの機会や時間が増え、相互理解が深まる。」などの効果があり、保護者からの要望にも応えているものと認識しております。

本年度の臨時教員4名は、全員担任として職務に専念しており、学習指導や生活指導などに積極的に取り組んでおります。

〔質〕来年度における臨時教員の採用状況はどうか。

〔答〕昨年度の応募状況などから、質の高い応募者の確保が重要であるため、本年度は、7月に、蕨市において臨時教員を募集する予定がある旨のチラシを事前に関係各大学に送付し、さらに、9月に募集要項やポスターを配布しました。また、埼玉大学など、県内の主要大学を担当職員が直接訪問し、依頼を行うなどした結果、26名の応募がありました。

11月14日に行われた採用試験では24名の受験者があり、現在選考を行っております。

高橋 悦朗 議員

がん検診とワクチン接種の公費助成について

国の平成22年度補正予算は決まり、その中で疾病対策費として追加された1200億円余のなかに、疾病対策の推進を図るため、都道府県が設置する基金に子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金を交付することに、地方公共団体が実施する子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンの接種を促進するために必要な経費1085億円余が計上されています。

これは公明党が予防ワクチンの早期承認を実現し、ワクチン接種の公費助成を粘り強く主張し続けた成果であり

子宮頸がんは予防法を確立した唯一のがんであり、細胞診とHPV(ヒトパピローマウイルス)検査を併用する「精度の高い検診」と「ワクチン」の両者によって、根絶が期待できるとされています。「検診」については公明党の強力な推進で、昨年度の第1次補正予算で20才から40才を対象に5才刻みの「無料クーポン券」が具体化されて、昨年度の子宮頸がん検診受診率は、20代で前年の4倍以上、それ以外でも2倍以上にアップしたことが、医療関係者らによる「子宮頸がん征圧をめざす専門

家会議」の調査で明らかになりました。



そして今回の補正予算で、国費による公費負担が実現することとなり、「検診」と「ワクチン」の両輪の公費負担が用意されることになりました。

公明党は、「子宮頸がん予防ワクチン」に続いて、「ヒブワクチン」と「小児用肺炎球菌ワクチン」普及でも一貫してリード役を果たしてきました。命を守るワクチン助成拡大の取り組みは、公明党のネットワーキ力で一歩ずつ前進させていきたいと考えます。

〔質〕乳がん・子宮頸がん検診及び無料クーポン券のさらなる利用率向上と「がん対策基本計画」での受診率50%以上という目標への本市の取り組みについて。

〔答〕市では、子宮がん及び乳がん検診を毎年実施しており、21年度は、子宮がん検診1,694人、乳がん検診1,633人と増加しております。日程に土・日を入れたり、期間を延ばしたり、案内チラシを全戸配布したり、積極的な環境作りに取り組んでいます。

〔質〕男性特有の中高年以上に多く見られる前立腺がん検診の啓発と助成について。

〔答〕国の指針に前立腺がん検診が含ま

れておらず、今後の科学的根拠、指針改定に基づき対応させて頂きます。

〔質〕子宮頸がんワクチンや検診の大切さを次世代に伝えていくために、家庭・学校・社会での啓発推進についてはどうか。

〔答〕児童生徒に対する啓発はもとより、教職員の理解を深め、保護者に対して、一層の啓発活動を推進するよう指導してまいります。

〔質〕子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチン接種への本市の取り組みについて、いつから実施するのか。

〔答〕県に予防接種を促進するための基金を設置し、市の事業に対し助成することになっていきます。本市では、助成内容が明らかになった時に、具体化に向け、検討してまいります。

平成23年度予算編成方針について

〔質〕自治体にとって、これまでの「削減」目標数値とした「行財政改革」だけでなく、限られた予算を有効活用し住民満足度の最大公約数を目指して自治体の経営を本格的に考え、実践するという劇的な変化を求められるようになっていきます。第4次総合振興計画並びに地域力発揮プランを踏まえ、その姿勢と取り組みについて。

〔答〕市税は、個人所得の落ち込みや企

業収益の悪化により、大幅な減少は避けられず、経常的経費、政策的経費の財源確保に苦慮する状況です。新たな新プランの推進に取り組み、優先順位の選択を行い、市民と行政がそれぞれの役割を担い協力し合い、安全安心のまちづくりを推進してまいります。

〔質〕市税等各種収入金の収納率向上への取り組み及び財源確保に対する新年度取り組み方針について。

〔答〕電話及び文書による早期納付勧奨や警告等の特別催告を実施し、滞納繰越分に対する財産調査、滞納処分強化に努めます。さらに、「市債権管理対策委員会」を設置し、一層の適正化を図ります。財源確保については、広告事業の推進、市有地の有効活用等、多角的に努めてまいります。

住宅改修資金助成交付事業について

〔質〕地域経済対策として始めた住宅改修資金助成制度ですが、本年度の住宅改修資金助成交付事業の経過実績と効果及び新年度事業継続見通しと予算額増加について。

〔答〕助成金への総額146万8千円に対し、市内業者へ発注された工事費は助成金の約31倍の4,520万5千円であり、低迷が続く景況の中で相当の効果が得られました。厳しい経済状況を勘案し、来年度も実施し、予算は本年当初と同規模で考えてまいります。